

塘研究室現地調査報告 02

9月20日に鬼面山と箕輪山, 21日に東吾妻山周辺で高山性アザミウマ類の現地調査を実施しました。調査者は20日が塘と木目澤の二人, 21日が塘一人でした。調査内容は山岳域のイネ科を寄主とする未記載種2種(どちらも *Thrips* 属の一種)の分布確認で, 鬼面山と箕輪山では県内の山岳域に広く分布している種の追加標本を, 東吾妻山周辺では8月14日に続いて, このエリアからしか記録されていない種の確認が目的でした。山岳域に広域分布種については, 鬼面山と箕輪山から十分な個体の確保ができ, 鎌沼付近や桶沼付近からも分布を確認しました。これらの中にこのエリアからしか記録されていない種が含まれているかもしれません(実体顕微鏡下では種を区別することが困難なため)。

21日はホシガラスとオヤマリンドウ以外に生物の気配はあまりなく, 少し寂しい調査でしたが, 少しずつ紅葉が始まっており, 目を楽しませてくれました。今年は紅葉が素晴らしそうで楽しみです。



箕輪山の雪渓跡付近を登る



箕輪山山頂から見た安達太良山・鉄山



色づき始めた箕輪山



浄土平付近の樹上にとまるホシガラス



景場平の紅葉



蓬萊山の紅葉